

広島市感染症週報

広島市感染症対策協議会・広島市感染症情報センター

■コメント

1 インフルエンザ

定点当たり4.21人と、増加が続いています。また、インフルエンザ様疾患による学級閉鎖が第38週に3件報告されました。全国でも増加が続いており、注意が必要です。手洗いの励行、咳エチケット、換気など、感染予防対策を徹底しましょう。

迅速診断キット検査結果(市内2か所の協力医療機関による)
第38週 A型:34人、B型:0人

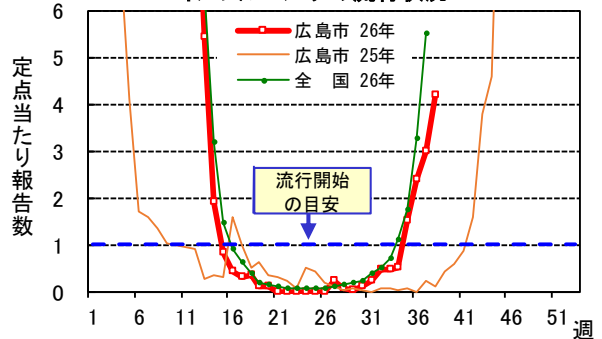
2 新型コロナウイルス感染症(COVID-19)

定点当たり1.47人の報告がありました。(次ページ参照)

3 RSウイルス感染症

定点当たり0.86人の報告があり、前週と比べて増加しました。感染経路は接触感染と飛沫感染です。おもちゃや手すりなど手の触れる部分の消毒や手洗いの励行、咳エチケットなど、感染予防対策を心がけましょう。

インフルエンザの流行状況



9月24日から30日は「結核・呼吸器感染症予防週間」です!

結核は、今でも全国で1日約27人が診断され、約4人が命を落としている重大な感染症のひとつです。結核について正しく知り、早期発見・早期治療に努めるとともに、呼吸器感染症の予防を心がけましょう。広島市では、65歳以上の方を対象に、無料の結核健診(胸部レントゲン検査)を実施しています。

(詳しくはこちらをご覧ください)【結核】今こそ知ってください! 結核のこと(広島市)

<https://www.city.hiroshima.lg.jp/living/medical/1021213/1024246/1022957.html>



■定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均過去5年(注)年間	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均過去5年(注)年間	発生記号	急増減	前週と比較しておおむね
ARI	急性呼吸器感染症(ARI)	2033	59.79			小児科	突発性発しん	6	0.29	0.26		急増減	前週と比較しておおむね1:2以上の増減
	インフルエンザ	143	4.21	0.52			ヘルパンギーナ	3	0.14	0.59		増減	前週と比較しておおむね1:1.5~2の増減
	新型コロナ(COVID-19)	50	1.47				流行性耳下腺炎	1	0.05	0.02		微増減	前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減
小児科	RSウイルス感染症	18	0.86	0.82		眼科	急性出血性結膜炎	-	-	-		横ばい	ほとんど増減なし
	咽頭結膜熱	4	0.19	0.26			流行性角結膜炎	1	0.13	0.93			
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	30	1.43	1.10		基幹	細菌性髄膜炎	-	-	-			
	感染性胃腸炎	110	5.24	2.62			無菌性髄膜炎	1	0.17	0.03			
	水痘	2	0.10	0.10			マイコプラズマ肺炎	2	0.33	1.83			
	手足口病	13	0.62	1.45			クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-			
	伝染性紅斑	-	-	0.28			感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-			

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

急性呼吸器感染症(ARI)定点数(内科・小児科)	34
小児科定点数	21
眼科定点数	8
基幹定点数	6

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	7	100	10歳代・推定感染地域: 国外・1人、20歳代・2人、40歳代・1人、80歳代・1人、80歳代・市外・1人、90歳代・1人
4	重症熱性血小板減少症候群	1	3	70歳代
5	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	1	4	90歳代
5	梅毒	1	89	40歳代

■ 定点把握感染症報告状況(週報対象)の推移

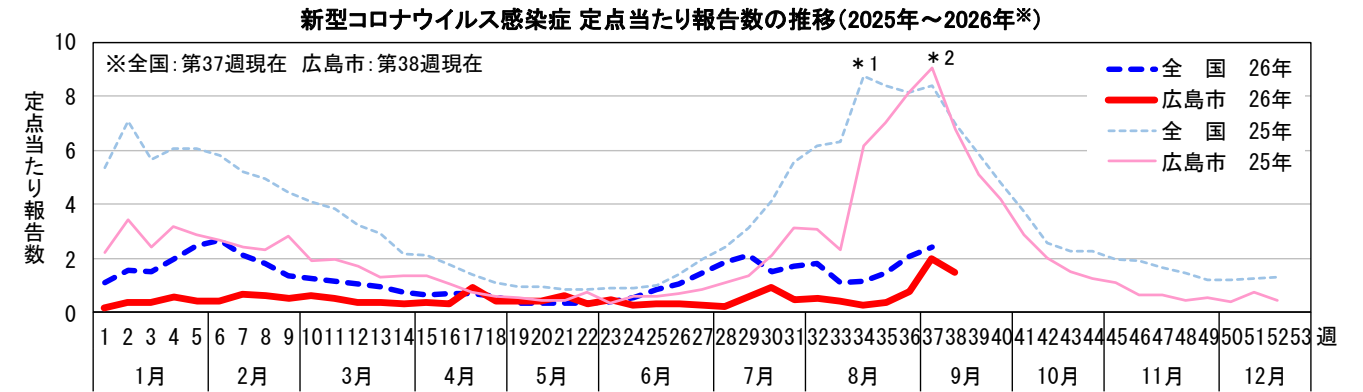
		急性呼吸器感染症 (ARI)	インフルエンザ	新型コロナウイルス (COVID-19)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎	(ロタウイルス)	感染性胃腸炎
報告数	第34週	1,176	17	9	4	8	16	82	3	28	-	7	10	-	-	4	-	-	1	-	-	-
	第35週	1,331	51	13	6	5	30	92	3	25	3	7	12	1	-	5	-	-	1	-	-	-
	第36週	1,512	81	26	6	3	15	98	4	20	-	2	12	1	-	5	-	-	5	-	-	-
	第37週	1,820	102	67	10	8	29	115	5	15	-	7	12	-	-	3	-	-	-	-	-	-
	第38週	2,033	143	50	18	4	30	110	2	13	-	6	3	1	-	1	-	1	2	-	-	-
定点当たり	第34週	34.59	0.50	0.26	0.19	0.38	0.76	3.90	0.14	1.33	-	0.33	0.48	-	-	0.50	-	-	0.17	-	-	-
	第35週	39.15	1.50	0.38	0.29	0.24	1.43	4.38	0.14	1.19	0.14	0.33	0.57	0.05	-	0.63	-	-	0.17	-	-	-
	第36週	44.47	2.38	0.76	0.29	0.14	0.71	4.67	0.19	0.95	-	0.10	0.57	0.05	-	0.63	-	-	0.83	-	-	-
	第37週	53.53	3.00	1.97	0.48	0.38	1.38	5.48	0.24	0.71	-	0.33	0.57	-	-	0.38	-	-	-	-	-	-
	第38週	59.79	4.21	1.47	0.86	0.19	1.43	5.24	0.10	0.62	-	0.29	0.14	0.05	-	0.13	-	0.17	0.33	-	-	-
全国	第36週	48.41	3.29	2.08	1.02	0.26	1.38	3.87	0.21	1.72	0.03	0.31	0.96	0.03	0.01	0.65	0.03	0.05	0.41	0.01	0.01	0.01
	第37週	55.87	5.54	2.44	1.12	0.24	1.46	3.80	0.16	1.45	0.03	0.31	1.00	0.05	0.01	0.66	0.01	0.05	0.44	0.02	0.01	0.01

■ 病原体検出状況(ARIサーベイランス) 感染症発生動向調査に基づくARI病原体定点医療機関からの搬入分のみ掲載

検体採取週	検査検体数	陽性検体数*	インフルエンザウイルス A H3	インフルエンザウイルス A H3	B型インフルエンザウイルス (ビクトリア系統)	B型インフルエンザウイルス (山形系統)	新型コロナウイルス (SARS-CoV-2)	A型RSウイルス	B型RSウイルス	ヒトメタニューモウイルス	パライフルエンザウイルス1型	パライフルエンザウイルス2型	パライフルエンザウイルス3型	パライフルエンザウイルス4型	ライノウイルス	エンテロウイルス	アデノウイルス
第33週	5	5						1	1				1		2	1	1
第34週	14	9	1	1						1	2	1			3	2	
第35週	17	15	3	2			2	1			3		3		7		
第36週	17	14	3					1		1			1	1	8	2	3
第37週	15	14	1	2			1			1	2		1		6	1	

* 同一検体からの複数ウイルス検出例を含む(検査: 広島市衛生研究所) 詳しくはホームページで [広島市 病原体](#) [検索](#)

【参考】新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の発生動向



全国では2026年6月から7月にかけて増加した後は減少に転じましたが、8月後半から再び増加傾向となっており、引き続き注意が必要です。
2025年夏~秋の流行時は、全国で第34週(8月18日~24日)*1に定点当たり8.73人、広島市で第37週(9月8日~14日)*2に定点当たり9.06人のピークとなり、7月から10月にかけて報告の多い状況が続きました。
手洗いの励行、咳エチケット、換気など、基本的な感染予防対策を心がけましょう。発熱等の体調不良時は不要不急の外出を控えましょう。

本週報は、速報性を重視していますので、今後調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。なお、感染症情報の詳細についてはホームページでご覧いただけます。
<https://www.city.hiroshima.lg.jp/living/eisei/1003071/index.html>

【問い合わせ先】
広島市感染症情報センター/広島市衛生研究所 〒733-8650 広島市西区商工センター四丁目1番2号
TEL (082) 277-6575 FAX (082) 277-5666 E-Mail ei-seikatsu@city.hiroshima.lg.jp